

助けてといえる 地域をつくるために

～生活支援の現場から学ぶ～

「何かしたいけれど、自分に何ができるのだろうか」そんな思いをもつ市民のみなさんと一緒に、地域のなかでできる支え合いについて考える企画です。

「いつも明日の食べ物の心配をしている」「アパートを追い出されてしまった」「身体の調子が悪くても病院に行くことができない」。いま、暮らしの困難は見えにくいかたちで広がっています。孤立して苦しみを抱え込んでしまうことを、地域のつながりのなかでどう防ぎ、どう支えていけるのか。

長年にわたり「つくろい東京ファンド」などでハウジングファーストの取り組みを牽引し、生活困窮者を支援する現場の最前線で活動を続けておられる稲葉剛さんに基調講演をお願いし、福祉・食支援・居場所づくりなど、さまざまな実践から学ぶ場としたいと考えています。

2026

6/6 (土)

13:30-16:30

ウィルあいち 大会議室

参加費 500 円

大学生以下無料

13:30- ハウネット総会

14:40- 記念企画 基調講演 稲葉 剛さん

報告 フードバンクぎふ 船田 伸子さん

名古屋市議員(日本共産党)

岡田 ゆき子さん



講演

稲葉 剛さん

一般社団法人つくろい東京ファンド代表理事、認定 NPO 法人ビッグイシュー基金共同代表、立教大学大学院社会デザイン研究科客員教授、住まいの貧困に取り組むネットワーク世話人、生活保護問題対策全国会議幹事、いのちのとりで裁判全国アクション共同代表、ホームレス問題の授業づくり全国ネット理事

